

- 5) 松野博明：慢性関節リウマチに対するメトトレキサートの使用経験。リウマチ医の会，1999，8，富山。
- 6) 川口善治：糖尿病壊疽。富山県糖尿病ナース養成講義。1999，9，富山。
- 7) 木村友厚：関節軟骨の破壊とその制御。第14回日本整形外科学会基礎学術集会，1999，10，奈良。
- 8) 松野博明：慢性関節リウマチの新しい治療戦略としてのアポトーシス。北海道地区リウマチ教育研修会，1999，10，旭川。
- 9) 木村友厚：軟骨の分化形成と破壊。第2回分子リウマチつくばセミナー，1999，10，筑波。
- 10) 木村友厚：軟骨破壊の病態解明とその治療。第29回新潟関節リウマチ研究会，1999，11，新潟。
- 11) 松野博明：SA96（ブシラミン）の薬理学的作用および免疫調節薬としてのその代謝物—薬理作用におけるSA96代謝物のジスルフィド構造の重要な役割。3-4，1999。
- 12) 木村友厚：誌説，異質なものはきれいですか？整形外科50：1052，1999。

## 産科婦人科学

教	授	齋	藤	滋
講	師	山	川	寛
師	藤	村	正	樹
助	手	酒	井	利
助	手	種	部	子
助	手	日	高	隆
助	手	道	又	敏
助	手	津	田	博
助	手	長	谷	徹
	手(前)			

### ◆ 著 書

- 1) Saito S. : Cytokine network in the human decidua. : Reproductive Immunology Gupta S. K. (Ed) Norosa Publishing House, New Delhi, India, pp78-87, 1999.
- 2) Saito. S., Umekage H., Sakamoto Y. and Morikawa H. : Preeclampsia is a Th1-type immune condition. 11th World Congress of the International Society for the Study of Hypertension in Pregnancy (ISSHP). 30-34, 1999.
- 3) 齋藤 滋：母児免疫応答。「臨床エビデンス産科学」佐藤和雄，藤本征一郎編，80-87，メジカルビュー社，東京，1999。
- 4) 種部恭子，対馬ルリ子：経口避妊薬。「避妊ガイドブック—A Clinical Guide for Contraception.」我妻暁監訳，早乙女智子編訳，71 - 96，文光堂，東京，1999。

### ◆ 原 著

- 1) Saito S., Umekage H., Sakamoto Y., Sakai M., Tanebe K., Sasaki Y. and Morikawa H. : Increased Thelper-1-type immunity and decreased T-helper-2-type immunity in patients with preeclampsia. Am. J. Reprod. Immunol. 41 : 297-306, 1999.
- 2) Saito S., Sakai M., Sasaki Y., Tanebe K., Tsuda H., Michimata T. : Quantitative analysis of peripheral blood Th0, Th1, Th2 and the Th1 : Th2 cell ratio during normal human pregnancy and preeclampsia. Clin. Exp. Immunol. 117 : 550-555, 1999.
- 3) Saito S., Tsukaguchi N., Hasegawa T., Michimata T., Tsuda H. and Narita N. : Distribution of Th1, Th2, and Th0 and the Th1/Th2 cell ratios in human peripheral

- and endometrial T cells. Am. J. Reprod. Immunol. 42 : 240-245, 1999.
- 4) Sakakura S., Saito S. and Morikawa H. : Stimulation of DNA synthesis in trophoblasts and human umbilical vein endothelial cells by hepatocyte growth factor bound to extra cellular matrix. Placenta. 20 : 683-693, 1999.
  - 5) 種部恭子, 酒井正利, 道又敏彦, 津田 博, 西条寿夫, 小野武年, 斎藤 滋 : ストレスと生殖内分泌系—脳内のサイトカインの関与. Effects of stress on reproductive endocrine system and their relationship with brain-derived cytokines. 産婦人科治療, 78 : 374, 1999.
  - 6) 斎藤 滋 : 免疫学的立場よりみた妊娠成立機序ならびにその破綻. 富山医薬大医誌12 : 33-40, 1999.
  - 7) 長谷川 徹, 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋 : 当科における骨重量減少者の長期治療成績. Osteoporosis Jpn 7 : 290-292, 1999.
  - 8) 長谷川 徹, 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋 : HRTの腰椎骨密度に対する—治療開始時の閉経後年数との関連を中心とした検討—Osteoporosis Jpn 7 : 444-446, 1999.
- ◆ 症例報告
- 1) Yamakawa Y., Fujimura M., Hidaka T., Yasoshima K. and Saito S. : Inflammatory malignant fibrous histiocytoma (IMFH) of the ovary producing interleukin-6 (IL-6). Gynecol. Oncol. 75 : 484-489, 1999.
  - 2) Fujimura M., Yamakawa Y., Kataoka K., Izumi R. and Saito S. : Preservation of the vulva in stage III squamous cell carcinoma with intra-arterial chemotherapy. Int. J. Clin. Oncol. 4 : 307-310, 1999.
  - 3) 酒井正利, 佐々木 泰, 種部恭子, 斎藤 滋 : 予防的抗凝固療法が奏功したProtein S欠乏症合併妊娠の一例. 日本産婦人科・新生児血液学会誌 8 : 139-144, 1999.
  - 4) 種部恭子, 佐々木 泰, 酒井正利, 斎藤 滋 : 肥大型閉塞性心筋症合併妊娠の2例. 産科と婦人科66 : 1363-1368, 1999.
  - 5) 日高隆雄, 柳楽清文, 堂下真樹子, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋 : リザーバー設置術後に仮性動脈瘤を併発した外陰癌の1例. 日産婦学会雑誌 51 : 353-357, 1999.
  - 6) 道又敏彦, 山川義寛, 八十島邦昭, 泉 陸一 : 交通外傷にて骨盤骨折・胎児仮死を来した1例. 日産婦学会誌51 : 155-158, 1999.
  - 7) 道又敏彦, 津田 博, 長谷川 徹, 酒井正利, 泉陸一, 斎藤 滋 : 体外受精・胚移植 (IVF-ET) 後に子宮内外同時妊娠 (双胎と間質部妊娠を来し手術療法が奏功した1例. 日産婦学会誌51 : 459-463, 1999.
  - 8) 道又敏彦, 山川義寛, 宮崎聡美, 長谷川 徹, 結城浩良, 藤村正樹, 伏木 弘, 泉 陸一 : 子宮頸部細胞診・内膜組織診が診断に有効であった骨盤内放線菌症の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 38 : 244-248, 1999.
  - 9) 津田 博, 道又敏彦, 斎藤 滋 : 腹水濾過濃縮再静注法が有効であった重症卵巢過剰刺激症候群の1例. 産科と婦人科66 : 1223-1227, 1999.
  - 10) 伏木 弘, 結城浩良, 寺畑信太郎, 田所 猛, 三井由紀子, 大橋美香, 熊野睦子, 山川義寛 : 抗癌剤が著効した子宮頸部漿液性腺癌の1例. 日本臨床細胞学会雑誌38 : 578-582, 1999.
  - 11) 樋熊須晴, 藤村正樹, 日高隆雄, 山川義寛, 前田宜延, 斎藤 滋 : 外向性に嚢胞状発育を呈し子宮筋腫の嚢胞状変性との鑑別診断を要した子宮癌肉腫の1例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌17 : 170-174, 1999.
  - 12) Aiba N., Morioka J., Miyazono T., Okita H., Yata Y., Okada K., Nambu S., Watanabe A., Shimizu M., Fujimura M. and Izumi R. : Portal hypertension and variceal bleeding. Case report : Intrahepatic portal-hepatic venous shunts associated with a huge pelvic leiomyoma. J. Gastroentero. Hepatol. 13 : 158-162, 1998. (1998年度追加)
- ◆ 総 説
- 1) 斎藤 滋 : 妊娠維持機構におけるサイトカインの役割. 炎症と免疫7 : 91-100, 1999.
  - 2) 斎藤 滋 : 母子垂直感染—HTLV-I—. ペリネイタルケア18 : 76-81, 1999.
  - 3) 斎藤 滋 : 胎児・新生児の感染と免疫. ペリネイタルケア18 : 152-161, 1999.
  - 4) 斎藤 滋 : 周産期のウイルス感染とその対策. 産婦人科治療78 : 761-157.
  - 5) 斎藤 滋 : 妊娠とTh1細胞, Th2細胞. 臨床免疫31 : 670-676, 1999.
  - 6) 斎藤 滋 : 妊娠時における免疫系, 内分泌系の母子相関. 産婦人科の実際48 : 833-840, 1999.

- 7) 斎藤 滋：妊娠母体ならびに胎児・新生児の免疫特性からみた母子感染。臨床婦人科産科53：971-980, 1999.
- 8) 斎藤 滋：妊産婦の免疫学的特徴。周産期医学29：18-22, 1999.
- 9) 斎藤 滋：母子感染。産婦人科治療79：287-292, 1999.
- 10) 藤村正樹, 波多江正紀：婦人科がん化学療法同研究会プロトコールについて。産科と婦人科66：1617-1622, 1999.
- 11) 酒井正利, 斎藤 滋：「母体救急の基本と実際（血栓性静脈炎，腎盂腎炎）」木下勝之編，180-185，医学の世界社，東京，1999.
- ◆ その他
- 1) 斎藤 滋：妊娠と感染症。「今日の治療指針41版」多賀須幸男，尾形悦郎編，746，医学書院，東京。
- 2) 斎藤 滋：早産の診断。日本医事新報3903：105, 1999.
- 3) 山川義寛, 斎藤 滋：塩酸ラモセトロン。新しい治療薬のポイント1999前期10：138-139, 1999.
- 4) 斎藤 滋：不妊治療の現況と問題点。医報とやま1238：6-8, 1999.
- ◆ 学会報告
- 1) 斎藤 滋：内分泌攪乱物質（環境ホルモン）について八尾市医師会（若門会）学術講演会特別講演，1999，1，大阪。
- 2) 斎藤 滋：早産の診断と対応。第140回鹿児島三水会学術講演会特別講演，1999，2，鹿児島。
- 3) 斎藤 滋：内分泌攪乱物質と生殖。第282回富山県薬剤師会学術集会特別講演，1999，4，富山。
- 4) 斎藤 滋：臍帯血移植治療について。とやま環境問題懇話会特別講演，1999，6，富山。
- 5) 斎藤 滋：免疫学的立場からみた妊娠成立機構ならびにその破綻。第7回秋田臨床免疫・炎症研究会特別講演，1999，6，秋田。
- 6) 斎藤 滋：妊娠維持の免疫・内分泌機能。第7回青森産婦人科内分泌研究会特別講演，1999，11，青森。
- 7) 斎藤 滋：多胎妊娠の管理オーバービュー。日産婦富山地方部会・富山県医師会新生児死亡改善対策検討会共催シンポジウム，1999，2，富山。
- 8) 種部恭子, 斎藤 滋：低用量ピルの正しい使い方。日本産科婦人科学会公開講座シンポジウム，1999，11，富山。
- 9) 酒井正利, 佐々木 泰, 米田 哲, 種部恭子, 斎藤 滋：マウス早産モデルを用いたcyclooxygenase (COX)-2 selective inhibitorの早産予防効果の検討。第1回北信越立山セミナーシンポジウム，1999，8，富山。
- 10) 片岡 健, 高田義美, 中島昭憲, 斎藤 滋, 許南 浩：RNA differential displayによるマウス胎盤形成に関わる遺伝子の系統的検索。第7回日本胎盤研究会シンポジウム，1999，10，東京。
- 11) 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 斎藤 滋：子宮頸癌に対するネオアジュバント動注化学療法。第37回日本癌治療学会ワークショップ，1999，10，岐阜。
- 12) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 斎藤 滋：末梢血および子宮内膜中のTh1, Th2, Th0細胞率についての検討。第29回日本免疫学会ワークショップ，1999，12，京都。
- 13) Fujimura M., Hidaka T., Yamakawa Y., Saito S. : Estrogen does not affect the growth of human ovarian clear cell adenocarcinoma. The 10th annual review course on gynecologic oncology and pathology. 1999, 10, Ootū.
- 14) 長谷川 徹, 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋：HRTの骨密度に対する効果—治療開始時の閉経後年数との関連を中心とした検討—。第5回近畿骨粗鬆症研究会，1999，2，大阪。
- 15) 藤村正樹, 片岡 健, 日高隆雄, 山川義寛, 斎藤 滋：卵巣明細胞腺癌株における各種サイトカイン添加に対する細胞増殖能変化の検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 16) 酒井正利, 佐々木 泰, 種部恭子, 斎藤 滋：産褥期におけるEIV (External Iliac Vein) 血流速度の推移に関する検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 17) 種部恭子, 斎藤 滋：慢性ストレス環境下でのラット視床下部GnRH発現の制御と内因性IL-1b, IL-2との関連。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 18) 日高隆雄, 柳楽清文, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋：婦人科腫瘍術後血栓症の危険因子についての検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 19) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 斎藤 滋：子宮内膜および妊娠初期脱落膜中のTh1, Th2, Th0細胞率についての検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 20) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 斎藤 滋：妊

- 娠中毒症例末梢血における活性化およびサイトカイン産生についての検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 21) 結城浩良，藤村正樹，斎藤 滋：子宮頸癌放射線治療におけるApoptosisおよびApoptosis関連蛋白の予後因子としての有用性の検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 22) 長谷川 徹，山川義寛，藤村正樹，日高隆雄，道又敏彦，津田 博，斎藤 滋：HRTの腰椎骨密度に対する長期治療成績を閉経後年数からみた治療効果の違い。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 23) 片岡 健，藤村正樹，斎藤 滋：卵巣明細胞腺癌細胞の抗癌剤感受性。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 24) 佐々木 泰，酒井正利，種部恭子，斎藤 滋：子宮頸粘液中のIL-8，好中球数の妊娠時における変動についての検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 25) 堂下真樹子，酒井正利，種部恭子，佐々木 泰，山岸直子，斎藤 滋：母体搬送時tocolysis indexと切迫早産の予後ならびに新生児予後との関係。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 26) 柳楽清文，藤村正樹，片岡 健，日高隆雄，長谷川 徹，山川義寛，斎藤 滋：子宮体癌発生におけるIGF-1，IGFBP-1，IGFBP-3の関与に関する検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 27) 樋熊須晴，藤村正樹，日高隆雄，長谷川 徹，山川義寛，斎藤 滋：嚢胞状発育を呈し診断に苦慮した子宮癌肉腫の一例。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 28) 山岸直子，酒井正利，佐々木 泰，種部恭子，斎藤 滋：切迫早産例における子宮頸管粘液中のIL-8，癌胎児性フィブロネクチンの測定意義に関する検討。第51回日本産科婦人科学会総会，1999，4，東京。
- 29) 山川義寛，藤村正樹，日高隆雄，斎藤 滋：進行子宮頸癌に対するネオアジュバント動注化学療法。第12回富山癌治療懇話会，1999，5，富山。
- 30) 日高隆雄，山川義寛，藤村正樹，樋熊須晴，斎藤 滋：子宮頸部初期病変に対するLEEP conizationの有用性の検討。第27回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会，1999，6，富山。
- 31) 道又敏彦，津田 博，斎藤 滋：当科におけるFTカテーテルによる卵管鏡下卵管形成術の治療成績。第27回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会，1999，6，富山。
- 32) 米田 哲，酒井正利，樋熊須晴，種部恭子，斎藤 滋：切迫早産治療における硫酸マグネシウムの有用性と安全性に関する検討。第27回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会，1999，6，富山。
- 33) 道又敏彦，津田 博，種部恭子，斎藤 滋：子宮筋腫核出術のSLLの有用性に関する検討。日本不妊学会北陸支部学術総会，1999，6，金沢。
- 34) 山川義寛：頸部細胞診の対象，採取方法について。日母学術研修会，1999，7，富山。
- 35) 道又敏彦，津田 博，種部恭子，斎藤 滋：末梢血および子宮内膜中のTh1，Th2，Th0細胞率についての検討。第17回日本受精着床学会，1999，7，熊本。
- 36) 津田 博，道又敏彦，種部恭子，斎藤 滋：脱落膜リンパ球のTh2ケモカインレセプター（CRTH2）の発現についての検討。第17回日本受精着床学会，1999，7，熊本。
- 37) 酒井正利，佐々木 泰，山岸直子，種部恭子，斎藤 滋：Tocolysis index，子宮頸管粘液中のIL-8，および癌胎児性フィブロネクチンの早産予後判定に関する検討。第35回日本新生児学会，1999，7，香川。
- 38) 佐々木 泰，酒井正利，種部恭子，斎藤 滋：cyclooxygenase（COX-2）selective inhibitorの早産予防効果の検討。第35回日本新生児学会，1999，7，香川。
- 39) 高木紀美代，斎藤 滋，吉田丈俊，今村博明：当科における分娩週数32週以下の脳性麻痺の発生と母体因子に関する検討。第35回日本新生児学会，1999，7，香川。
- 40) 藤村正樹，日高隆雄，山川義寛，斎藤 滋：Cellular leiomyoma との鑑別が困難であったGIST（gastrointestinal stromal tumors）の一例。第28回日本婦人科腫瘍学会学術集会，1999，7，宇都宮。
- 41) 藤村正樹，日高隆雄，山川義寛，斎藤 滋：GIST（gastrointestinal stromal tumors）と考えられた腸管壁原発，腸間膜内発育を来した腫瘍の一例。第28回日本婦人科腫瘍学会学術集会，婦人科腫瘍病理検討会，1999，7，宇都宮。
- 42) 日高隆雄，山川義寛，斎藤 滋，樋口清博：卵巣癌化学療法における末梢血幹細胞採取効率の検討。第4回富山造血幹細胞移植懇話会，1999，7，富山。
- 43) 米田 哲，酒井正利，樋熊須晴，種部恭子，斎藤 滋：切迫早産治療における硫酸マグネシウム

- の有用性および安全性に関する検討。日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1999, 5, 富山.
- 44) 日高隆雄, 中島彰俊, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: Paclitaxel投与による筋肉痛に対する芍薬甘草湯の効果。日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1999, 7, 富山.
- 45) 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 斎藤 滋: 子宮頸癌に対するネオアジュバント動注化学療法。第47回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1999, 8, 旭川.
- 46) 酒井正利, 佐伯 愛, 樋熊須晴, 米田 哲, 種部恭子, 斎藤 滋: 血栓症ハイリスク妊婦におけるEIV (External Iliac Vein) 血流速度の検討。第47回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1999, 8, 旭川.
- 47) 日高隆雄, 山川義寛, 藤村正樹, 樋熊須晴, 斎藤 滋: 子宮頸部初期病変に対するLEEP conization有用性の検討。第47回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1999, 8, 旭川.
- 48) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 斎藤 滋: 脱落膜リンパ球のTh2ケモカインレセプター(CRTH2)の発現についての検討。第47回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1999, 8, 旭川.
- 49) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 斎藤 滋: 子宮筋腫核出術後のEarly Second Look Laparoscopy (ESLL)の有用性に関する検討。第47回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1999, 8, 旭川.
- 50) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 斎藤 滋: 子宮筋腫核出術のSLLの有用性に関する検討。日本産婦人科内視鏡学会, 1999, 8, 大阪.
- 51) 酒井正利, 佐伯 愛, 米田 哲, 種部恭子, 斎藤 滋: 血栓症ハイリスク妊婦におけるEIV (External Iliac Vein) 血流速度の推移の検討。第22回日本産科婦人科ME懇話会, 1999, 8, 大阪.
- 52) 藤村正樹, 日高隆雄, 山川義寛, 斎藤 滋: Cellular leiomyomaとの鑑別が困難であったGIST (gastrointestinal stromal tumors)の一例。第1回北信越立山セミナー, 1999, 8, 富山.
- 53) 日高隆雄, 中島彰俊, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: Paclitaxel投与による筋肉痛に対する芍薬甘草湯の効果。第19回産婦人科漢方研究会学術集会, 1999, 9, 東京.
- 54) 米田 哲, 酒井正利, 中島彰俊, 柳楽清文, 種部恭子, 斎藤 滋: 第3回富山県母子医療研究会, 1999, 9, 富山.
- 55) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 斎藤 滋: 治療に苦慮した重症卵巣過剰刺激症候群の一例。北陸内分泌代謝研究会, 1999, 10, 金沢.
- 56) 酒井正利, 米田 哲, 種部恭子, 斎藤 滋: 切迫早産におけるTocolysis index, 子宮頸管粘液中のIL-8, および癌胎児性フィブロネクチンの早産予後判定に関する検討。第13回北陸未熟児・新生児研究会, 1999, 10, 金沢.
- 57) 高木紀美代, 斎藤 滋, 吉田丈俊, 今村博明: 当科における分娩週数32週以下の脳性麻痺の発生と母体因子に関する検討。第13回北陸未熟児・新生児研究会, 1999, 10, 金沢.
- 58) 藤村正樹, 片岡 健, 日高隆雄, 山川義寛, 斎藤 滋: 卵巣明細胞腺癌におけるc-erbB-2遺伝子産物発現の検討。第37回日本癌治療学会, 1999, 10, 岐阜.
- 59) 日高隆雄, 山川義寛, 藤村正樹, 斎藤 滋: 子宮頸部初期病変に対するLEEP conizationの有用性の検討。第37回日本癌治療学会, 1999, 10, 岐阜.
- 60) 赤田 忍, 寺西明子, 森川 肇, 佐藤信二, 吉田祐司, 矢嶋 聰, 日高隆雄, 斎藤 滋: M-CSF, G-CSF併用卵巣癌化学療法時の免疫能の変動に関する検討。第37回日本癌治療学会, 1999, 10, 岐阜.
- 61) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 斎藤 滋: 脱落膜リンパ球のTh2ケモカインレセプター(CRTH2)の発現についての検討。第7回日本胎盤研究会, 1999, 10, 東京.
- 62) 種部恭子, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋: ヒト妊娠初期絨毛および脱落膜におけるprolactin-releasing peptide (PrRP) とその受容体hGR3の発現。第7回日本胎盤研究会, 1999, 10, 東京.
- 63) 日高隆雄, 中島彰俊, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: Paclitaxel投与による筋肉痛に対する芍薬甘草湯の効果。第24回制癌問題研究会, 1999, 11, 富山.
- 64) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 斎藤 滋: 脱落膜リンパ球のNKT細胞についての検討。第29回日本免疫学会, 1999, 12, 京都.
- ◆ その他
- 1) 斎藤 滋: 妊娠時における免疫系, 内分泌系のクロストーク, 神戸大学大学院特別講義, 1999, 1, 神戸.
- 2) 斎藤 滋: 不妊治療の現況と問題点。富山県医師会生涯教育講座, 1999, 2, 富山.

- 3) 斎藤 滋：早産とサイトカイン-感染という立場からみた早産の予防・治療-。愛育病院特別講演，1999，5東京。
- 4) 斎藤 滋：不妊症治療の現況と問題点-環境ホルモンとの問題をも含めて-。富山医科薬科大学リカレント教育講座，1999，9，富山。
- 5) 斎藤 滋：不妊症の現況と問題点。第23回富山医科薬科大学大学祭公開講座，1999，10，富山。
- 6) 斎藤 滋：内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）と生殖。糸魚川市市民公開講座，1999，11，糸魚川。

## 眼 科 学

教 授	早 坂 征 次
講 師	門 井 千 春
講 師	松 本 真 幸
講 師	開 加 藤 剛
助 手	長 木 康 典
助 手	柳 沢 秀 一
助 手	豊 田 葉 子
助 手	北 川 清 隆
助 手	阿 部 知 博
助 手	岩 佐 芳 夫
助 手 (前)	佐 藤 昭 一
助 手 (前)	山 田 哲 也
技術専門職員	林 由 美 子

### ◆ 著 書

- 1) 早坂征次，門井千春：コロイデレミア。「網膜」本田孔士他編，255-256，メジカルビュー社，東京，1999。
- 2) 早坂征次，早坂依里子：脳回転状網脈絡膜萎縮症。「網膜」本田孔士他編，257-258，メジカルビュー社，東京，1999。
- 3) 早坂征次：サイコイドーシス。「今日の治療指針」多賀須幸男，尾形悦郎編，650-651，医学書院，1999。
- 4) Hotta Y., Fujiki K., Hayakawa M., Takeda M., Kohno N., Kohno A., Kanai A., Mashima Y., Mori M., Okajima O., Murakami A., Yoshii M., Matsumoto M., Hayasaka S., Tagami N., Isashiki Y., Ohba N.: Mutation spectrum in the REP-1 gene of Japanese choroideremia patients. Hollyfield et al. (eds) Retinal degenerative diseases and experimental therapy, Kluwer Academic/Plenum Publishers, New York.: 157-163, 1999.

### ◆ 原 著

- 1) 門井千春，長木康典，松本真幸，早坂征次：富山医科薬科大学眼科での全層角膜移植後の視力。眼臨，93：838-839，1999。
- 2) Nagaki Y., Hayasaka S., and Kadoi C.: Cataract progression in patients with atopic dermatitis. J. Cataract Refract Surg., 25：96-99，1999。
- 3) Kadoi C., Hiraki S., Hayasaka S., and